

令和7年5月29日

東彼杵町長 岡田 伊一郎 様

東彼杵町振興懇話会

会長 大澤 裕次

答 申 書

令和6年12月2日付、6東彼総第280号で諮問を受けた東彼杵町新庁舎整備に係る基本設計について、東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）において審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

1 新庁舎の配置計画や各階の構成などの平面計画について

- (1) 国道側に正面を設けた新庁舎の配置
- (2) 来庁者の移動の負担軽減のため利用者の多い部署を1階へ集約
- (3) 行政事務を執行するために効率的で使い勝手の良い平面計画
- (4) 高齢者や障がいのある人等に配慮した空間整備
- (5) DX推進による窓口機能の省スペース化
- (6) 会議室・相談室スペースの整備、プライバシー機能の確保

2 導入する機能について

- (1) 災害対策本部となる諸室の浸水影響がない場所への設置
- (2) 一時避難スペース等及び防災機能の確保
- (3) 自然エネルギーの活用、省エネルギー・高効率・高耐久性の設備導入
- (4) 利便性に配慮した駐車場、駐輪場等の確保

3 その他新庁舎整備に必要な事項について

- (1) 耐震性、耐火性、遮音性、耐久性、工期、建築コストのバランスを考慮し、鉄筋コンクリート造または鉄骨造で検討すること。

ただし、内装には木材を積極的に使用し温かみのある空間づくりに努めること。

- (2) 事業費については、近年の建設工事価格の上昇傾向も注視しながら、引き続き、適正な事業を精査すること。

以上